

■ ずっと住みたいまち宗像を目指して（市長あいさつ）

“むなかた子ども大学” が開催される週末、教育関係者・企業・団体・市民の皆さまなどのご協力により、「本物から学ぶ」講座や「本物を体験する」活動が実施され、市内はキラキラと目を輝かせた子どもたちであふれています。

子どもたちが働くことや社会について理解を深め、将来を描く力を養っていく。社会総がかりで育むこの取り組みは、宗像市で成長する子どもたちならではの貴重な機会になっています。



第3次宗像市総合計画は、むなかた子ども大学で学び成長した子どもたちをはじめ、あらゆる世代の皆さまが、10年後も宗像市にずっと住み続けたいと思えるよう、今後10年間のまちづくりの方向性を示す計画として策定いたしました。

この計画が掲げるまちの将来像「世界遺産がある海とともに生きる ずっと住みたいまち宗像～自然を守り安心を育む 自分らしく挑戦できる～」には、宗像市の豊かな歴史や自然と、安全・安心を基盤としながら、一人一人が望む生活を送り、踏み出す一歩を後押しする環境を、皆さまと行政がともに整えていくという思いを込めています。

こうしたまちづくりによって、地域への愛着や誇りが醸成され、選ばれるまち、住み続けたいと思えるまちを目指してまいります。市内外の多くの皆さまとともに、まちづくりに取り組んでまいりますので、引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、本計画の策定にあたり、貴重なご意見をお寄せいただいた多くの皆さまに、心より感謝申し上げます。

令和7年3月 宗像市長 伊豆 美沙子